

令和5年第2回亀岡市議会定例会12月議会一般質問

亀岡市議会

令和5年第2回亀岡市議会定例会12月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
12月5日(火)	10:00~	個人	1 三上 泉	一問一答	
	10:45~		2 山本 由美子	一問一答	
			休憩		
	13:00~		3 土岐 新	一問一答	
	13:45~		4 小川 克己	一問一答	
			休憩		
	14:45~ 15:30~		5 山木 裕也 6 大塚 建彦	一問一答 一問一答	
12月6日(水)	10:00~	個人	7 大西 陽春	一問一答	
	10:45~		8 富谷 加都子	一問一答	
			休憩		
	13:00~		9 竹内 博士	一問一答	
	13:45~		10 大石 慶明	一問一答	
			休憩		
	14:45~ 15:30~		11 松山 雅行 12 齊藤 一義	一問一答 一問一答	
12月7日(木)	10:00~	個人	13 片山 輝夫	一問一答	
	10:45~		14 林 徹司	一問一答	
			休憩		
	13:00~		15 小林 仁	一括	
	13:45~		16 原野 実生子	一問一答	
			休憩		
	14:45~ 15:30~		17 浅田 晴彦 18 福井 英昭	一問一答 一問一答	
12月8日(金)	10:00~	個人	19 木村 勲	一問一答	
	10:45~		20 西口 純生	一問一答	
			休憩		
	13:00~ 13:45~		21 梅本 靖博 22 法貴 隆司	一問一答 一問一答	

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和5年第2回亀岡市議会定例会 12月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>三上 泉 12月5日(火) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治 姿勢について</p>	<p>現在、パレスチナ自治区ガザは、病院、学校などが攻撃され、何の罪もない子ども、病人をはじめ、多くの民間人が死傷するジェノサイドの様相を呈している。10月27日、国連総会はイスラエルとハマスの大規模衝突をめぐり、すべての当事者に国際法遵守と自制、そして「人道的休戦」を求める決議を121カ国の賛成で採択したが、米国やイスラエルなど14カ国が反対し、日本や英国など44カ国が棄権した。本市は、本年4月に「中東和平プロジェクト」を開催し、10月12日に「イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突に対する声明」を発出している。</p> <p>(1)世界連邦非核平和都市としてのイスラエルのガザ侵攻に対する対応について問う。</p> <p>①イスラエルの自衛権を盾に、国際法違反の無差別攻撃を容認し、国連決議を棄権した日本政府の対応についての所見は。</p> <p>②国際紛争解決の手段としての戦争を永久に放棄した憲法をもつ国として、国連決議に賛同し、ガザの深刻な人道的危機を打開するために、無差別攻撃の即時中止、双方を即時停戦のテーブルへ促す声を上げるよう、先に発した声明からさらに一步踏み込んで国に対して強く求めるべきではないか。</p> <p>令和6年度予算編成方針が出された。その書き出しは、9月の「月例経済報告」によると、「景気は、緩やかに回復している。」と示している。しかしながら、11月15日発表の2023年7～9月期の実質GDP成長率は、前期比マイナス0.5%（年率換算マイナス2.1%）と3四半期ぶりのマイナス成長に陥った。依然として物価上昇圧力は高く、消費者マインドの冷え込みが懸念されている。方針の基本的な考え方では、「市民生活や地域経済を守り抜く事業はもちろんのこと」と前置きし、子どもを応援するまちなど多種多様なまちづくりの推進をうたっている。先日、年金生活者でつくる団体の方が議会を訪問されて、年金生活者の厳しい状況を訴えられた。とりわけ高齢者世帯では、物価高騰による買い物控え、医療介護負担増による受診控えなど、生活も命も切り詰める現状がより深刻になっているのではないだろうか。</p> <p>(2)市内の景気動向や、市民生活についてどのように捉えているか。</p> <p>(3)市民生活を応援する施策が依然として緊急に求められていると考えるが所見は。</p> <p>令和6年度予算編成方針の重点政策の各項目か</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>ら一つ抽出して市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(4)「互いを認め合う、ふれあいのまちづくり」において、ジェンダー平等、イクボス宣言の実践などによる男女共同参画社会の推進とあるが、ジェンダー平等の具体的推進策をどのように考えているのか。</p> <p>(5)「安全で安心して暮らせるまちづくり」において掲げている、防災・減災を見据えた河川整備について問う。</p> <p>①国や府の管理河川の大規模浚渫を強く求めるべきではないか。</p> <p>②市管理河川では土砂堆積に加えて、河川内に生えた木が巨木化しているところを多く見かける。早急な点検と対応が必要ではないか。</p> <p>(6)「子育て・福祉・健康のまちづくり」において、保育所に係る人員が不足している。保育士の確保はもちろんだが、以前質問した、欠員となっていた心理士の確保など、園児の発達支援事業などを支える人員は充足したのか。</p> <p>(7)「豊かな学びと文化を育むまちづくり」において、市長選挙では「給食無償化も視野に入れる」旨の発言があったが、その真意と具体化は。</p> <p>(8)「地球にやさしい環境先進都市づくり」について問う。</p> <p>①ごみ収集の在り方で新たな課題があると思うが、草木ごみの収集から処理までの詳細は。</p> <p>②市役所7階議会棟のごみの出し方も一般家庭と同じ分別方式になったが、全庁そうなって、一般家庭ごみと同じ回収・処理方法となったのか。</p> <p>(9)「活力あるにぎわいのまちづくり」において、有害鳥獣駆除を掲げているが、対策は喫緊の課題である。以前サルの群れに発信機をつけて動向を察知する広域の取組が、一地域限定ということで篠山方面との連携はされているが、嵐山方面からのサル対策は連携事業ができないと聞いたがそのとおりなのか。篠町の被害も相当であり対策ができないか。</p> <p>(10)「快適な生活を支えるまちづくり」について問う。</p> <p>①桂川堤防・護岸高水敷を活用して、子どもの数が多い篠町地域の球技場・運動場をつくるべきではないか。</p> <p>②住み良いまちを支える「犬と暮らしやすいまち」の取組の推進とあるが、今度は何をするのか。</p> <p>③駅周辺の照度と安全は保たれているか。歩道が暗い、交差点の横断者が見えにくいところの対策が必要ではないか。</p>	
--	--	--	---	--

			<p>に取り組める施策は。</p> <p>J R並河駅前交差点について、視覚障がい者の方から、信号が変わったことを知らせる音響装置付信号機がなぜないのかとの声を聞いた。</p> <p>(3) 駅前には多くの方が利用される場所であり、障がい者の方に優しい対策が必要であると思うが所見は。</p> <p>(4) 音響装置付信号機への変更には、警察、京都府、地元自治会、近隣住民との協議が必要であると思うが、これを早期に改善していく考えは。</p>	
		3 交通インフラについて	<p>市内の交通インフラについては、多くの課題が山積する中で、公共交通対策特別委員会においても協議しているが、課題の一つとして、まちのにぎわいとも関連して、夜間・深夜における足の確保があると考え。特に、飲食業の方から深夜のタクシー運行を望む声が多くある。</p> <p>(1) タクシーの深夜営業がなく困っている市民が多くいると思うが、市内タクシー事業者の現状は。</p> <p>(2) J R終電以降のタクシー配車が難しい中で、市外タクシー事業者と連携できればと考えるが所見は。</p> <p>(3) 市内タクシー事業者の営業時間外に、市外タクシー事業者に参入いただくことを協議していくことは困難であるか。</p> <p>(4) 本市が取り組む陣痛タクシーは、非常にすばらしい施策であると思うが、深夜に利用できない状況を改善できないか。</p>	市長 所管部長
		4 中学校の部活動について	<p>市内中学校の部活動については、近年では府・近畿・全国大会などに出場するクラブや選手が多くあり、大変すばらしい活動ができていると考えている。しかし一方で、体育系・文化系を問わず、部活動に必要な用具や楽器代、遠征費用等により、学校や保護者の負担が増えている状況があると聞く。</p> <p>(1) 直近3年の中学校部活動における大会参加(全国大会等を含む)の現状は。</p> <p>(2) 用具や楽器等の更新についての現状は。</p> <p>(3) 遠征費や交通費の補助についての現状は。</p>	市長 教育長 所管部長
4	小川 克己 12月5日(火) 13:45~ ※一問一答	1 公共交通について	<p>年を重ねても安心して暮らせるまちづくりについて所見を問う。</p> <p>(1) 桂川市長の亀岡新時代ビジョンの政策の中に「シニア世代の移動をもっと自由に」とあるが、今後具体的にどのように進めていこうとしているのか、抱負は。</p> <p>(2) 直近の課題はJ R嵯峨野線亀岡駅以北の減便緩和であり、特に昼間の1時間1本が課題である。</p> <p>① J R並河駅と千代川駅の直近の利用状況は。</p>	市長 所管部長

		<p>②関係団体で減便緩和要望を重ねていただいたが、令和6年3月のダイヤ改正に反映されるのか。</p> <p>(3) J R千代川駅を渡る、東西自由通路完成に向け進捗状況は。</p>	
	2 小・中・義務教育学校について	<p>快適な学びの場としての現状を伺う。</p> <p>(1) 市内の小・中・義務教育学校のトイレ改修の現状と、今後の予定は。</p> <p>(2) 児童生徒が登下校時に持つリュックなどの荷物が大変重い。改善策は考えられないのか。</p>	市長 教育長 所管部長
	3 地域通貨事業について	<p>亀岡市内だけで流通、利用できる地域通貨を導入することで、地域内の流通を活性化し、経済循環を高めることが期待できる。あわせて地域コミュニティが活性化することで、地域課題の解決も図ることができ、地域が一丸となって活性化と持続可能な地域経営が推進できると期待する。</p> <p>(1) 11月30日と12月1日にかめpayプレミアムイベントが開催されたが、デジタル地域通貨かめpayとは。</p> <p>(2) プレミアムイベントの概要は。また、結果をどのように捉えているのか。</p> <p>(3) かめpayの運用にあたり、課題と効果、市としてのメリットについて所見は。</p>	市長 所管部長
	4 マンパワーについて	<p>市民ニーズが多種多様化する中、アフターコロナで様々なイベントも復活している。また、今後4年間では、市として新時代に向けて様々な施策が進んでいく。市民力と職員力、まさに限られた人員の中でのマンパワーが必要となる。</p> <p>(1) 市職員人材育成の取組は。</p> <p>(2) ジョブローテーションの考え方は。また、実際にそれぞれの部署の業務実情を鑑みた人事はできているのか。</p> <p>(3) 産休・育休以外で、体調不良のため休職している職員数は。</p> <p>(4) 専門職で採用している職種は。</p> <p>(5) 幹部職員育成の取組について、多種多様化する市民ニーズや施策に向けた専門職員や病院職員等の人事交流について、また、一般職員の自治大学校への研修派遣についての考え方は。</p> <p>(6) 市職員のマンパワー活用以外に、煩雑化する業務を効率的に処理するため、また、職員にカウンセリングを実施するために、例えば市内の社会保険労務士や臨床心理士、職員OB等の力を借りることについての所見は。</p>	市長 所管部長
	5 スタジアムの活用について	<p>全国に誇れる球技専用スタジアムがある亀岡市。球技以外の活用について問う。</p> <p>(1) サッカー等の試合があるとき以外にスタジ</p>	市長 所管部長

			<p>アムを使用し、例えば音楽コンサートやコスプレイベント等を誘致する考えはあるのか。</p>	
5	<p>山本 裕也 12月5日(火) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 森林管理について</p>	<p>本市は地域の7割が山林であり、以前は山林が本市の重要な資源であったが、近年は、ゴルフ場や廃棄物処理施設の建設、メガソーラーの設置等、森林伐採につながる事業が行われている。森林整備は、本市にとって重要な課題であり、今後は森林環境譲与税を利用し、森林整備をすることが重要である。</p> <p>(1)本市には、どのような森林整備計画があり、どのような事業が実施されているのか。</p> <p>(2)本市には、ソーラーパネルがどのくらい設置されているのか。</p> <p>(3)山林の斜面に設置されているソーラーパネルの状況をみると土砂崩れ等の危険性を感じるが、安全対策について市の考えは。</p> <p>(4)亀岡市は「亀岡市太陽光発電設備の設置及び管理に関する条例」を制定しているが、山林や耕作放棄地にソーラーパネルを設置することを許可していくのか。</p> <p>(5)太陽光発電に変わる発電方法として、小型水力発電を推進してはどうか。</p> <p>(6)森林施業を行う際、幹の丸太部分は建築資材等に活用されているが、枝葉部分はどのように活用されているのか。</p> <p>(7)森林施業で伐採した、丸太部分以外の幹や枝葉を再利用する考えは。</p> <p>(8)亀岡産杉・ヒノキ・クロモジの枝打ちした枝葉を原材料として、アロマオイルの原料となる精油をつくるなど、新たな産業を創出してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>2 竹林整備について</p>	<p>亀岡市では、古くから竹を工芸品や農業用具として利用してきた。近年では利用する機会が減り、竹林が放置されていると聞くが本市の考えを問う。</p> <p>(1)亀岡市内に放置されている竹林は、何ヘクタールあるのか。</p> <p>(2)竹林整備の必要性をどのように考えているのか。</p> <p>(3)放置竹林の竹を利用して竹灯籠を作成し、地域の祭りや七谷川和らぎの道等で催しを開催する際に使用することで、竹やぶの所有者や市民、観光客に竹の魅力を伝えてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 街路樹の安全管理について</p>	<p>亀岡市内にある街路樹は、四季折々の街路景観を彩り市民の憩いとなっている。一方で、管理に膨大な費用と人手がかかるため、今後の本市の街路樹管理の考えについて問う。</p> <p>(1)街路樹の倒木または寿命で伐採を余儀なくされる街路樹を見かけるが、どのくらいの切</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>り株があるのか。</p> <p>(2) 街路樹の切り株により、歩行者が転倒されけがをされる事があり、特に西つつじヶ丘では車が切り株に乗り上げてしまったことがあったと聞いている。市は、このような状況を把握しているのか。</p> <p>(3) 街路樹の植え替えや切り株を除去し安全な歩道に整備する考えは。</p> <p>(4) 8月15日に最接近した、台風7号の影響で倒木被害があったことを受け、6月議会で街路樹の安全対策について質問したが、その後どのような対策を行っているのか。</p> <p>(5) 台風で倒木した原因の一つとして、特にプラタナスの木は年数が経つと幹の中が空洞化しやすく倒木につながると聞かすが、どのように街路樹安全点検を行っているのか。</p> <p>(6) 街路樹の幹の空洞化を見つけるため、超音波装置を活用している自治体があると聞かすが、本市でも実施してみてもどうか。</p>	
	4 作業所の働き方支援について	<p>大阪府堺市では、就労継続支援B型事業所の事業として、古くなったパソコン等の電子機器を解体・再利用する、まさにSDGsの取組が行われている。本市でも、電子機器を入れ替える際には作業所に業務を委託してはどうか</p> <p>(1) 市役所をはじめ、公共施設で使用したパソコン等の電子機器は、どのように処分しているのか。</p> <p>(2) 亀岡市内の就労継続支援B型事業所が電子機器の解体・再利用の事業を実施することになった場合、市が回収した小型家電を事業所に提供する考えはあるのか。</p> <p>(3) 資源の有効利用と廃棄物の適正処理を行うため、この事業を推進してはどうか。</p>	市長 所管部長
6	<p>大塚 建彦 12月5日(火) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 有害鳥獣対策事業について</p> <p>令和5年6月議会で法貴隆司議員が、有害鳥獣捕獲後の処理・加工等について質問された。その際、有害鳥獣駆除を委託されている亀岡猟友会では、原則として捕獲された鳥獣を埋設・焼却処分していると答弁されたが、捕獲された野生鳥獣の処理・加工施設の建設や運営等について問う。</p> <p>(1) 埋設等による環境汚染を防ぎ、資源を有効活用するため、捕獲鳥獣の処理・加工を行う施設を建設する考えは。</p> <p>(2) 施設の建設を検討する場合、その施設は処理・加工から製品化までの中間処理を行う施設なのか。それとも全工程を行う施設を想定しているのか。</p> <p>令和5年9月議会で松山雅行議員が、府県境を越えた広域的な有害鳥獣捕獲の推進について質問された。</p> <p>(3) 隣接する府県と協議を行っているのか。亀岡市では有害鳥獣を捕獲した場合、補助金の</p>	市長 所管部長

		<p>2 JR亀岡駅南のまちづくりについて</p>	<p>申請に必要となる証拠の準備等に煩雑な手続が求められる。猟友会の負担を軽減するため、証拠となる書類等の省略化や簡素化の考えは。</p> <p>(4) 捕獲鳥獣の証拠等の提出時に不備があった場合、個体を埋設しているため、再度写真を撮影することは困難である。そのため、却下という選択肢だけではなく、救済措置を検討することはできないか。</p> <p>(5) スマートフォンアプリなどを活用した、捕獲状況のシステム化を実現できないか。</p> <p>(6) 補助金の実績報告に不正が続く場合には、ペナルティを強化する必要があると考えるが、現行のルールを変更する余地はあるのか。</p> <p>亀岡駅前開発推進協議会は、令和5年11月5日に「亀岡駅南のまちづくりについて活動報告会」を開催された。本協議会は平成26年に追分町自治会、亀岡駅前商店街振興組合、追分町商栄会で構成され、当初は、大規模な再開発事業の検討等を行ってきたが、令和3年に亀岡市による都市再生事業として、亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想が始まったことに伴い、都市整備課や委託を受けたコンサルティング会社等も加わり、JR亀岡駅南周辺の商業地域の開発について、先進地視察も行い協議を重ねてきた。</p> <p>(1) 今回の報告会では、今後の商業地域の開発等について方向性が示されたがどのような内容であったのか。</p> <p>(2) 当日は、商工観光課の参加があり、会議の中では「商店の成功事例を作っていく」ということで意見が一致したが、市は具体的にどのような支援を考えているのか。</p> <p>(3) 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想の核であるJR亀岡駅前から南郷公園までのシンボルロードの無電柱化が当初の計画から遅れているが、その原因と今後の見通しは。</p> <p>(4) 亀岡市・南丹市・京丹波町を会場として、令和8年に全国都市緑化フェアin京都丹波が開催されるが、JR亀岡駅南地区において実施が望まれている「ほこみち」について、交通管理者との協議の状況は。</p> <p>(5) 令和5年11月10日、亀岡市内で商店街ネットワークサロン@南丹が開催された。主催である京都府商店街創生センターと協働で、JR亀岡駅南商店街での新たな店舗の再生(リノベーション)に向けて、プロジェクトを立ち上げる考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 道の駅での食事の提供につ</p>	<p>令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に引き下げられた。現在も、</p>	<p>市長 所管部長</p>

		いて	<p>新型コロナウイルス感染症の感染者の報告は続いているが、市民生活への影響は改善されている。その結果、道の駅ガレリアかめおかも連日にぎわいを見せており、特に休日は車を止められないほどの盛況であり、うれしい限りである。</p> <p>(1) 物産市場「アトリオ」には、食事ができるレストランがあったが、なくなった理由は。</p> <p>(2) ガレリアかめおかを訪れる市民や観光客等から、食事ができる店の再開を望む声を多数聞くが、どのように考えているのか。</p> <p>(3) ガレリアかめおかのホームページには、「レストラン」というページがあり、現在もレストランを営業しているかのような印象を受けるが、どのような意図があるのか。</p>	
7	<p>大西 陽春 12月6日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国民健康保険事業について</p> <p>2 学校給食の実施について</p> <p>3 介護保険に</p>	<p>国民健康保険料は他の健康保険に比べて保険料が高くなっている中で、市民から「高い保険料を少しでも引き下げてほしい。」との声を聞く。令和4年度は国民健康保険加入世帯数1万1,659世帯中973世帯、8.3パーセントが保険料を滞納している。</p> <p>(1) 滞納の原因を、どのように認識しているのか。</p> <p>(2) 物価高で家計が大変な今だからこそ、国保料の引下げが必要である。国民健康保険財政調整基金残高は令和4年度末で約6億7,534万円となっているが、1世帯1万円の引下げを行えば幾ら必要になるのか。</p> <p>(3) 就学前の子どもの均等割額が半額に減額されているが、残りの額を亀岡市が支援すれば幾ら予算が必要になるのか。</p> <p>亀岡市学校給食検討懇話会を設置し、令和10年度に向けて、中学校給食の検討が進められている。子どもファーストを掲げ、オーガニック農業を進める本市の学校給食施策について問う。</p> <p>(1) 学校給食の教育的意義、食育の観点、安全面やリスク回避の観点から、自校給食が1番望ましいと考える。各学校の空き教室の状況を調査し、各校に調理場を造ることを検討してはどうか。</p> <p>(2) 建設するのであれば、自校給食に限りなく近い形の少規模調理場が望ましいと考えるが、所見は。</p> <p>(3) 育親学園の調理場建設計画はどのようになっているのか。また、対応食数を育親学園の児童生徒に限らず、周辺の学校に配食することはできないのか。</p> <p>(4) 育親学園におけるオーガニック給食の計画はどのようになっているのか。</p> <p>介護保険は、保険料を40歳からずっと払い続</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長</p>

		<p>について</p> <p>4 生活保護行政について</p>	<p>け、利用時にも介護度によって利用料も払わなくてはならない大変負担の大きい制度となっている。第9期介護保険計画の策定が進められる中、介護保険制度について問う。</p> <p>(1) 第9期介護保険計画の基本方針と基本目標は、利用者やその家族の視点をしっかりと入れて策定されるべきと考えるが所見は。</p> <p>(2) 高齢者の実態調査結果から、本市の高齢者の課題をどのように把握しているのか。</p> <p>(3) 亀岡市は第9期介護保険計画を、事業者に依頼して策定しているのはなぜか。また、委託のメリットとデメリットは。</p> <p>(4) 第8期所得段階別保険料を亀岡市は12段階としているが、なるべく負担を減らすため、城陽市のように18段階に細かくするべきではないのか。</p> <p>(5) 介護サービスを受けたくても利用料が高く、受けられない実態を把握しているのか。</p> <p>(6) 65歳以上の人で、介護保険の要介護認定を受け、所定の条件を満たす場合、身体障害者手帳などの交付を受けていなくても、所得税等における障害者控除の対象者になることができる。京丹後市は可能性のある対象者を抽出して個別に案内しているとのことであり、本市も同様に案内ができないか。</p> <p>生活保護はこの国の「最後のセーフティネット」であり、生活がどうにもならなくなったときに、国が責任を持って支援する制度である。物価高騰、年金や賃金が上がりず生活が厳しくなっている今、命に関わる重要な制度であると認識している。</p> <p>(1) 京都社保協2021年自治体キャラバン報告書によると、京都府下の市において、亀岡市の生活保護率はかなり低いとその理由は。</p> <p>(2) 廃止事由について、令和4年度は死亡が35.7パーセント、次いで転出が32.9パーセントと多い。転出による廃止について、就業によるものや親族の元への転出が考えられるが、具体的な理由は何か。</p> <p>(3) 令和4年度保護申請に係る却下件数は23件である。そのうち、収入資産によるものが14件となっているが、具体的に何の収入で却下になっているのか。</p> <p>(4) 国が行う臨時特別給付金等は一時的なものであるが、収入に含まれると考えられているのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
8	<p>富谷加都子 12月6日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 学校現場での学びの支援について</p>	<p>学校現場では、不登校となる児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒が増加するとともに、いじめ対策などの課題解決の要である教員の不足も深刻で、危機的な状況である。国の制度や仕組みの改善は当然として、本市教育委員会は子ども</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>2 医療的ケア児支援について</p>	<p>もたちが主体的に学べる環境整備をさらに進める必要がある。</p> <p>(1) 教員不足におかれた学校現場の現状をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 教員不足は、様々な原因が考えられるが、主な原因をどのように捉えているのか。</p> <p>(3) 教員不足への取組は。</p> <p>(4) 学びの保障のため、不登校対策支援員や特別支援教育支援員等、教育現場をサポートする人材は重要と考える。各学校が確保出来る支援員の時間配分に基準はあるのか。</p> <p>(5) 令和5年6月議会で取り上げた不登校対策「COCOLOプラン」で、スペシャルサポートルームの配置を取り上げた。答弁は、詳細中学校ブロックを事業実践校区として3年間の計画で整備するとのことであったが、現状は待ったなしである。事業の進捗状況はどうか。</p> <p>(6) 適応指導教室に通えず、自宅にいる児童生徒の学びの機会として、札幌市教育支援センター宮の沢では、オンラインを活用した支援をしているが、本市で試行は可能か。</p> <p>(7) 児童生徒の教育環境に特に影響を及ぼす、老朽化した机や椅子の取り替え計画について問う。</p> <p>① 予算に応じて、取り替え個数は限定されるのか。</p> <p>② 新設の学校については、机の天板は大きくなるなど、仕様は変わるのか。</p> <p>令和3年6月に、医療的ケアが必要な子どもとその家族を支援する「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が成立した。医療的ケア児を保育所や放課後等デイサービスに預ける場合、看護師の配置など手厚い体制が必要である。今後、医療的ケア児が安心して適切な支援を受けられるよう、ニーズ調査を基に実態に添った体制確保が必要である。</p> <p>(1) 医療的ケア児の実態把握をしているのか。</p> <p>(2) 放課後等デイサービスで、医療的ケア児の受入れ施設の状況と各施設の受入れ可能人数は。</p> <p>(3) 保育所や学校で看護師の配置などの措置がある施設は何か所あるのか、また、現状は充足しているのか。</p> <p>(4) 医療的ケア児支援の人材育成の取組は。</p> <p>(5) 日中一時支援と放課後等デイサービスは併用可能と認識しているが、日中一時支援は自治体に対象者や人員配置基準が委ねられている。今後、日中一時支援の事業を充実させ、医療的ケア児を支えるご家族の負担を軽減すべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	-----------------------	--	--------------------

		<p>3 紙おむつ助成について</p> <p>高齢者福祉サービスや障害児(者)日常生活用具給付事業にて、紙おむつ等の給付がある。高齢化の進展とともに、介護度に関係なく紙おむつの利用者が増加している。また、障がい児(者)にとっても大きな出費である。</p> <p>(1) 高齢者福祉サービスの介護用品の支給の対象者として、高齢者が要介護4または5の認定を受けていることが条件だが、要介護1から3であっても、常時紙おむつを利用している人は、相当数おられる。住民税非課税世帯にとっては、大きな負担である。市民ニーズを把握し事業の拡大を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 上記制度の対象者は65歳以上となっており、40歳から64歳の方で、特定疾患があるため、要介護4や5の認定を受けていても要件から外れる。要介護認定が4以上であれば、年齢制限を緩和すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 障害児(者)日常生活用具給付事業実施要綱には、脳性麻痺等脳原性運動機能障害により排尿若しくは排便の意思表示が困難な者、高度の排便、排尿機能障害のある全身性障害児(者)等が対象者となっているが、常時紙おむつを利用している障がい児(者)に補助制度適用を検討できないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
9	<p>竹内 博士 12月6日(水) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 シティプロモーションについて</p> <p>市の情報発信は、地域住民に情報を提供する以外にも、移住や観光、企業誘致を実現するための広報戦略が重要である。SNSの登場で自治体の広報活動は大きな転換点を迎えている。以前は、広報誌で一方的な情報発信をすることが中心だったが、現在はSNSや動画共有サイトなどの様々な媒体を用いて、相手の求めている情報を発信していくことが自治体における広報の役割となってきている。そこで、情報発信・シティプロモーションについて問う。</p> <p>(1) 広報誌、公式LINE、各種SNSなど様々な情報発信媒体があるが、本市ではどのように使い分けて情報発信をしているのか。</p> <p>(2) 自治会未加入、かつ、新聞未購読、インターネット・SNS使用不可能という、いわゆる「情報難民」の把握や対応策は。</p> <p>(3) 効果測定は。また、その結果と分析から分かる情報発信における現状は。</p> <p>(4) 公式LINEの登録者数について、本市は他市と比較して好調に増加していると聞かが実態は。また増加している要因は。</p> <p>(5) 公式LINEの課題は。登録解除やブロックされる実態と要因は。</p> <p>(6) 登録者によって、情報が届いたり届いていなかったりすると聞かが、セグメント配信の状況は。また、広報計画は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 不登校対策について</p>	<p>(7) 令和5年3月議会以来、「子育て情報発信の充実化」について質問してきたが、その後の状況は。</p> <p>(8) デジタルマーケティングの現状や課題は。</p> <p>(9) マスメディアへのニュースソースの提供の現状や課題は。</p> <p>(10) ホームページは5年に1回、大幅リニューアルをしていると聞かすが、次回の課題や計画などについての考えは。</p> <p>文部科学省が10月4日に「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を公表した。調査結果によると、小・中学校における不登校児童生徒数は29万9,048人（前年度24万4,940人）で、前年度から5万4,108人（22.1%）増加し、過去最多となった。また、高等学校における不登校児童生徒数は、6万575人（前年度5万985人）で、前年度から9,590人（18.8%）増加している。そこで、不登校児童生徒の状況と対策について問う。</p> <p>(1) 本市における小・中・義務教育学校の不登校児童の状況は。</p> <p>(2) 不登校になる要因など状況分析はできているのか。また、どのような対策をとっているのか。</p> <p>(3) 不登校の要因の一つにHSPがあるとして全国的にも様々な事例報告されているところだが、本市ではHSPの状況把握はできているのか。</p> <p>(4) HSPの理解促進のための研修など実施するのはどうか。</p> <p>(5) 全国的に不登校対策推進校などは「支援教室」を設置するなどの対策も進めているが本市でも前向きに検討できないか。</p> <p>(6) 学校に行けない子どもが自宅でも授業を受けることができるよう、IT環境充実の可能性は。</p> <p>(7) 不登校児童生徒の居場所づくりなど、支援を行う人や団体への支援の現状は。</p> <p>(8) フリースクールのニーズも高まり、学びが多様化する社会のなか、全員が同じ教育を受ける時代も過渡期にきている。好きな教育を選ぶことができ、それが出席日数としても扱われるような先進的な取組を望む保護者も多いが、今後の可能性は。</p>	<p>教育長 所管部長</p>
<p>10</p>	<p>大石 慶明 12月6日(水) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 公共施設の利活用について</p>	<p>当市から転出する人よりも転入する人が20年ぶりに多くなり、「選ばれるまち」「住み続けたいまち」が現実となりつつあるが、いまだ人口減少傾向の解消まで至っていない状況である。現在進められている学校規模適正化の施策による、育親中学校ブロックにおける小・中学校の統廃</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>合、また文化資料館の移転構想により公共施設が空き施設となることが現実となっている。今後も空き施設が増加するおそれがあると考えているが、育親学園創設による3小学校及び文化資料館の空き施設の利活用について問う。</p> <p>(1)公共施設の利活用についての基本的な考えは。</p> <p>(2)上記3小学校及び文化資料館について、現時点での利活用に関する検討状況は。</p> <p>(3)利活用の検討について市民等を含めた検討会が必要と考えるが見解は。</p> <p>(4)空き施設を民間事業者に賃貸や売却することも想定されるが、その際は地域振興に貢献することを条件にすべきと考えるが見解は。</p> <p>(5)この際、既存公共施設を含めた抜本的な利活用の検討を行うべきと考えるが見解は。</p>	<p>近年、害獣の出没が多く発生している。特に今年に入り、熊も多く出没している。イノシシ、鹿の捕獲についても猟友会と連携し取り組まれているが、個体数の減少まで至っていないと考えている。また、アライグマ、イタチ、テン、ハクビシン、ヌートリアなど外来種の被害も多発している。これら害獣対策について問う。</p> <p>(1)熊の出没への対策について問う。</p> <p>①駆除の取組状況は。</p> <p>②被害防止に向けた市民への広報活動は。</p> <p>(2)イノシシ、鹿の個体数減少に向け、重点駆除地区を指定した取組が必要と考えるが見解は。</p> <p>(3)外来種の害獣(アライグマ、イタチ、テン、ハクビシン、ヌートリア等)に対する駆除の取組は。</p> <p>(4)外来種の害獣について、地域の農業者が自ら対策に取り組んでいると聞く。</p> <p>①外来種の害獣の処理についての相談件数、処理件数は。</p> <p>②外来種の害獣のうち、市で処理できるものとできないものは。</p> <p>③外来種の害獣の処理を一元的に市が実施できないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 害獣対策について</p>	<p>3 猫のふん尿被害について</p>	<p>空き家の増加などにより野良猫が住み着き、近隣住民が猫のふん尿による悪臭に悩まれているとの話を聞いた。令和5年度予算に、飼い主のいない猫の増加を防止するため、猫の避妊、去勢手術への補助金が計上されているが、その取組状況について問う。</p> <p>(1)避妊、去勢手術の実施件数は。</p> <p>(2)補助金の支給状況は。</p> <p>(3)今後の取組予定は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 婚活支援に</p>	<p>子どもと子育てを頑張る人を本気で応援する</p>		<p>市長</p>

		ついて	<p>「子どもファースト」を宣言し、流入人口の増加等、着実に成果を上げていると感じる。そこで、さらなる人口増加施策の一環として「亀岡で出会い、亀岡で結婚し、亀岡で子どもを産み、亀岡で子どもを育てる」サイクルを実現するための婚活支援に力を入れるべきと考える。</p> <p>(1) 以前、亀岡市独自で婚活イベント等を開催し、支援していたが、取りやめたのか。</p> <p>(2) 婚活イベントによる成果（成婚など）はどうであったのか。</p> <p>(3) 婚活イベントが現在実施されていない理由は。</p> <p>(4) 京都府において婚活支援の取組が実施されているが、亀岡市においても再度取り組む考えは。</p>	所管部長
11	<p>松山 雅行 12月6日(水) 14:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 快適な学習環境の整備について</p> <p>2 街路樹・公園樹の管理について</p> <p>3 大阪・関西万博について</p>	<p>千代川小学校の校舎増改築事業が無事完了し、新校舎では6年生の児童が快適に授業を受けており、他の学年の児童から早く6年生になって新校舎の明るい教室で学びたいという声も聞いている。今後の快適な学習環境の整備について問う。</p> <p>(1) これまでの校舎にある教室の照明等を、快適な学習環境の整備や省エネの観点からも、全てLED化してはどうかと考えるが所見は。</p> <p>本市は、これまでから亀岡らしさが感じられる緑化を推進する中で、5,000本以上の街路樹・公園樹を整備し管理してきている。街路樹は車と歩行者の分離や並木による視線誘導など道路の安全性向上の対策につながり、公園樹は人や動物の憩い空間に結びついている。一方で街路樹・公園樹は、樹木によって落ち葉や根上がり、枯れや腐りなど生育に支障が出ているもの、樹勢がよく道路の視認性や歩行空間を妨げている状況もある。今後の本市における施策推進について問う。</p> <p>(1) 樹木が大木化・老木化した際にどのようなリスクが考えられるか。</p> <p>(2) 持続的に健全な成長を促すため、撤去や植替えを計画的に行う必要があると考えるが所見は。</p> <p>(3) 街路樹・公園樹についての安全対策管理指針をつくるべきと考えるが所見は。</p> <p>2025年大阪・関西万博の開催まで500日を切った。今回の万博は約2兆円の経済波及効果が見込まれており、「万博」を基軸に本市もブース出展するなど、世界中に魅力を発信できるチャンスであり、新たなイノベーション創出の機会でもある。今後の機運醸成を含む本市の事業展開について問う。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>

		4 有事の際の道路確保について	<p>(1) 機運醸成に向けて、どのような事業展開を考えているのか。</p> <p>(2) 次世代モビリティである空飛ぶクルマの離発着場を本市に整備する考えは。</p> <p>(3) 次世代を担う本市の子どもたちに、直接会場で未来社会を感じ取ってもらいたいと考えるが、無料招待する考えは。</p> <p>令和5年1月24日、積雪により京都縦貫自動車道や国道9号で危険な状況にある区間が、安全確保のため通行止め措置がされ、公共交通においても、JRやバスの運休・運転見合わせが発生し、市内交通が大混乱となった。今後の対策と関係機関との連携について問う。</p> <p>(1) 当時、京都縦貫自動車道及び国道9号で通行止め措置がされた区間と期間は。</p> <p>(2) それ以上の状況が起こることを想定し、有事の際の道路管理者や関係機関との連携体制はどうか。</p> <p>(3) 主要道路の通行止めや公共交通の運休などによる帰宅難民者を減少させるためにも、各段階における行動計画(ガイドライン)について、国・府・NEXCO西日本などと連携して協議すべきと考えるが所見は。</p>	市長 所管部長
12	齊藤 一義 12月6日(水) 15:30~ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>市長3期目のマニフェスト政策集「未来への101の約束」に掲げる政策について問う。初めに、1項目目「子育てしたいまち」について、研究者によると選ばれるまちは「自分がそのまちで将来にわたって子どもを産み育てられることが想像できるまち」と言われているが、子どもを持たない理由としては、収入などの経済的な理由が最も多いとされている。</p> <p>(1) 子育てしたいまちを実現するためには労働賃金を上げることが重要であり、6項目目「経済の好循環で活気に満ちたまち」にも波及すると考えるが所見は。</p> <p>2項目目「子どもが夢を持ち成長できるまち」について、将来への教育としてICT教育の推進と高校進学時に使用タブレットを譲与するとされている。</p> <p>(2) ロイロノート導入後の教育的効果はどうか。</p> <p>3項目目「いくつになっても笑顔で健康に暮らせるまち」と4項目目「世界に誇れる環境のまち」に関連して、高齢者に多い難聴は、鬱や認知症の要因になるとも言われており、補聴器を必要とされているが、高額なため購入が困難な方が多いと聞く。</p> <p>(3) リユース品回収の一環として補聴器回収箱を設けて、有効活用をアピールすることで、需要者の出費軽減を図ってはどうか。</p> <p>4項目目「世界に誇れる環境のまち」について、</p>	市長 教育長 所管部長

		<p>2 地域間連携について</p>	<p>亀岡ふるさとエナジー株式会社による再生可能エネルギーの利用促進を図ることが必要である。</p> <p>(4) 長野県の飯田まちづくり電力株式会社を参考に、1項目目「子育てしたいまち」に関連する「子育て応援割引」や8項目目「便利で住み心地の良いまち」に関連する「Uターン移住応援割引」を取り入れて、再生可能エネルギーの利用促進につなげてはどうか。</p> <p>5項目目の「文化・芸術・スポーツで感動を生み出すまち」について問う。</p> <p>(5) (仮称)「梅岩の里」生誕地整備事業において、梅岩記念館完成後の施設運営のため、石門心学の教えを伝えることができる人材を育成する塾を創設してはどうか。</p> <p>(6) 芸術・文化の発信として、円山応挙作品の9年間の修復の記録映像を映画化し、円山応挙が高く評価されているフランスへ発信してはどうか。</p> <p>かめおか霧の芸術祭について、本市は大阪・関西万博の共創チャレンジに登録するなど推進に取り組む一方で、議会の委員会では分かりにくいとの意見が出ていたと記憶している。</p> <p>(7) JR金沢駅の鼓門のような、分かりやすく大きなオブジェを制作して霧を晴らしてはどうか。</p> <p>6項目目「経済の好循環で活気に満ちたまち」に畜産物をはじめ農産物のブランド化の推進やオーガニック農法の推進について掲げられている。</p> <p>(8) オーガニック農産物や亀岡牛の出口戦略として、高付加価値で販売でき、市場規模の大きい東京で亀岡産の農産物のアンテナショップを開いてはどうか。</p> <p>近隣市町との地域間連携は、地域課題解決のために今後様々な分野で進めるべきである。しかし、消防などの緊急を要する事案では地理的な把握がされていないと感じる。</p> <p>(1) 名目だけの連携でなく、合同消防訓練や合同勉強会などを行うことが必要ではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
13	<p>片山 輝夫 12月7日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 会計年度任用職員の処遇について</p>	<p>会計年度任用職員の処遇については、地方自治法改正により、令和6年度から勤労手当の支給が可能になるとともに、国から給与改定の実施時期を、常勤職員に準じて遡及改訂することを基本とするよう通知が発出された。今議会には給与改定と期末手当について条例改正議案が提案されている。</p> <p>(1) 勤労手当支給を可能にするための条例改正は、前回の9月議会では12月議会に提案するとの答弁であったが、なぜ今回提案されなかったのか。</p> <p>11月1日付でパートタイム会計年度任用職</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>員(一般事務員)の募集がホームページに掲載されたが、時間額968円とされている。</p> <p>(2)最低賃金法が適用されないといっても、最低賃金を下回る募集は、法律を守る公的機関としていかなものかと思うが、今回の給与改定により、この時給は幾らになるのか。</p> <p>今回の引上げは1%に満たず、物価高騰には全く追いついていない。実質賃金は下がり続けているのが実情である。賃上げこそ経済の好循環を生み出すことは衆目の一致するところであり、さらなる改善が必要である。</p> <p>(3)賃上げと併せて病欠休暇や子の看護のための休暇の有給化・拡充など、諸手当の改善も重要な課題であるがどのように認識しているのか。</p>	<p>近年、带状疱疹の罹患が増加しており、ワクチンの積極的な接種が呼びかけられている。ワクチン接種補助については、本市議会でも何度か取り上げられているがいまだ実現していない。市民からの声として、発症し激痛に耐えたことや、後遺症がきつく大変であったことなどをよく耳にする。</p> <p>(1)亀岡市内では年間どれだけの方が罹患され、発症しているのか。</p> <p>(2)京都府下でワクチン接種費用を補助している市町村はあるのか。</p> <p>(3)亀岡市がワクチン接種費用を補助しない理由は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 带状疱疹ワクチンの補助について</p>	<p>3 有機農業の推進について</p>	<p>本年は、水稻の有機栽培面積が11ヘクタールに急増し、収穫量も当初見通しより増加するため、有機米の生産を支援するための経費が令和5年9月議会で増額補正された。今後、学校給食に活用されるなど、有機農業の積極的展開が期待されるところである。</p> <p>(1)今年度の結果を総括して、来年度の栽培面積はどの程度を見込んでいるのか。</p> <p>(2)栽培農家から除草機の購入助成を求める声がある。来年度から実施を検討してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 保津川市民花火大会について</p>		<p>花火会場に近い保津町では、大会当日は日常生活に大きな影響が出ている。そこで保津町自治会では今回の大会後に町民を対象にアンケートを実施している。</p> <p>(1)自治会アンケート結果からどのような評価と課題が集約されていると認識しているのか。</p> <p>地元町民には規制除外の通行証が発行されたが、同居家族や親戚縁者に徹底されなかったために不愉快な思いをしたケースや、2区・3区の町民からは目隠し幕により花火がよく見えなかつ</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>5 水道の基本料金の見直しについて</p> <p>6 開発公園の維持管理について</p>	<p>たなどの意見も直接聞いている。 (2) 来年に向け改善すべき点があるのではないか。</p> <p>水道の基本料金である使用水量20立方メートルに満たない件数の状況について、令和5年3月議会に大西議員が質問し、約4分の1の件数との回答があった。今回はより詳細な内容について問う。</p> <p>(1) 直近2か月間の使用状況における全体使用件数と使用水量が20～10立方メートルの件数、10立方メートル未満の件数は。 (2) 基本料金を見直して20～10立方メートルは1,480円、10立方メートル未満は980円に軽減した場合、年間どの程度の減収になるのか。 (3) 基本水量まで使っていない世帯から、同額の基本料金を徴収することは問題である。令和4年度の水道事業会計決算書では一定の余剰金もあり上下水道ビジョンには大きな影響はないと考えるが所見は。</p> <p>亀岡市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例に基づき、開発地域の面積に合わせて設置された開発公園は、市の財産でありながら、自治会等が維持管理を行っている実態がある。</p> <p>(1) 地方自治法第244条の2には「公の施設の設置及びその管理に関する事項は、条例でこれを定めなければならない。」と規定されている。都市公園には条例があるが、開発公園を自治会等が維持管理を行う法的根拠は。 (2) 公園施設の自治会等が管理する範囲に、マンホールのような施設は含まれるのか。 (3) 管理不十分が原因で事故が起きた場合、賠償責任は管理する自治会等になるのか。 (4) 一般社団法人日本公園緑地協会では平成20年度に「開発公園の機能変化と管理に関する実態把握と今後のあり方に関する検討調査」を実施している。本市としても今後緑地等の活用も含め、公園の在り方を抜本的に検討する時期が来ているのではないかと考えるが、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
14	<p>林 徹司 12月7日(木) 10:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>市長の政治姿勢について問う。 (1) 先日の報道にあった保津川利用税についての見解は。 (2) 現時点で本市において懸念される最大の課題は。 (3) 3回目の当選を受け、これまで取り組んできた施策を踏まえてさらに重点的に発展させたいと考える取組について所見は。</p>	<p>市長</p>

		<p>2 学校・教育環境に係る課題について</p> <p>3 中小企業等への支援について</p>	<p>学校・教育現場における課題は多く、児童生徒のみならず、支える側においても山積していると考え。学校・教育環境に係る課題について問う。</p> <p>(1) 学校安全対策協力員の高齢化や成り手不足の対策として、報酬を引上げてはどうか。</p> <p>(2) 専科指導推進事業として音楽専科講師を配置しているが、音楽以外の科目にも広げてはどうか。</p> <p>(3) 2022年度の文部科学省の調査では、小・中学校の不登校児童生徒数が過去最多となった。本市における不登校児童生徒の状況は。</p> <p>(4) 京都府の「子どもの教育のための総合交付金」を活用した本市の特色ある取組は。</p> <p>(5) 文科省が積極的な対策を打ち出しているデジタル技術を活用した不登校予防や、学びの多様性に関する本市の取組は。</p> <p>(6) 亀岡市としてフリースクールの運営を支援してはどうか。</p> <p>国内企業の99%を占める中小企業は日本経済の土台を支える重要な存在であり、本市においても同様であると言える。中小企業・小規模事業者における経営者の高齢化と後継者不在は深刻であり、廃業が増えれば雇用や培われてきた技術が失われることとなるため、事業者の健全経営や事業継承を支援することは重要であると考え。本市における今後の取組について問う。</p> <p>(1) 本市における中小企業等の実態はどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 物価高騰により原材料価格等のコストが上昇しているが、下請けいじめなどの実態はないのか。</p> <p>(3) 事業継承などに関する相談体制はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 市内事業者におけるものづくり補助金活用の実態はどうか。</p> <p>(5) 高齢化や働き方改革、賃上げなどに対応するためにも、本市におけるリスキリングやリカレント教育の充実を目指してはどうか。</p> <p>(6) 多様な人材が集う学びの場として、オープンノベーションセンター・亀岡がある京都先端科学大学を活用してはどうか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
15	<p>小林 仁 12月7日(木) 13:00~</p> <p>※一括</p>	<p>1 西部地域への消防拠点設置について</p>	<p>亀岡市西部地域への消防拠点の設置について問う。</p> <p>(1) 最大の課題は、京都中部広域消防組合内の構成他団体との合意形成が取れないことで間違いないか。</p> <p>(2) 新聞報道による桂川市長の3期目の抱負は、「西部地域の消防拠点は救急車だけを置く施設の整備を目指す」とのことであり、ぜひ、実現をお願いしたい。火災・消防への取</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 西部地域3小学校の閉校後について</p>	<p>組についての所見は。</p> <p>(3) 救急車だけの消防庁舎とした場合、向後、消防車両を追加配備することは可能か。</p> <p>(4) 献身的に郷土愛護精神で活躍する亀岡市消防団の負荷軽減も考慮すべきではないか。</p> <p>(5) 京都中部広域消防組合内での運営費用負担捻出が難しいという合意形成の課題に対して目途は立っているのか所見は。</p> <p>育親学園の開校により、畑野・本梅・青野の3小学校が閉校となる。その閉校後の施設の利活用などについて問う。</p> <p>(1) 利活用が決定するまでの維持管理費を見積っているのか。</p> <p>(2) 運営費用は、育親学園のほうが減少すると考えられるが、新校舎建設費に加え、閉校後の維持管理費が長期支出になれば財政圧迫となる。所見は。</p> <p>(3) 利活用については、西部地域各自治会が、それぞれ地域住民からの意見聴取や、プロジェクトチームの立ち上げを実施している。しかし、閉校の利活用は、本市の「まちづくり」である。まず、行政がイニシアチブを取り、基本方針を示すべきと考えるが所見は。</p> <p>(4) 基本方針を示すには、行政内部の審議会・委員会等が必要と考えるが所見は。</p> <p>(5) 閉校の利活用は市民福祉の増強に生かされるべきである。まず、行政施策としての公共施設の検討、次いで地域コミュニティーを含む他の公共団体・公益的団体での利活用、最後に民間事業者への貸付けまたは売却が考えられる。地域に合った意見が、それぞれの地域から出やすいように誘導すべきと考えるが所見は。</p> <p>(6) ～未来につなごう～「みんなの廃校」プロジェクトでは、活用事例、利活用についての募集情報、イベントの紹介などを掲載している。このような外部機関の利用も有効と考えるが所見は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>3 子育て・教育移住について</p>	<p>移住促進対策について問う</p> <p>(1) 亀岡市の転入超過については、子どもファースト宣言、かめおかプラスチックごみゼロ宣言などの世間に先駆けた施策の成果と認識する。教育移住を考える人に向け、教育環境の充実したまちをアピールすべきと考えるが所見は。</p> <p>(2) 「京都府公式移住・定住情報サイト：今日と明日」でのターゲットを子育て世代に絞ることが大切と考えるが所見は。</p> <p>(3) 観光事業とコラボレーションし、一度、亀岡市を訪れたいと思っている人や、亀岡三大観光を訪れる人などからの口コミを利用し</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>3 道路交差点付近の安全対策について</p> <p>4 亀岡川東学園の避難所について</p> <p>5 教育環境について</p> <p>6 バルーンフェスティバルについて</p>	<p>について、故障箇所の修繕対応を含めて全体をLED化できないか。</p> <p>府道郷ノ口余部線や市道池尻宇津根線を通行する車両が増加していることに伴い、交差点付近の交通事故が増加傾向にある。 (1) 事故が発生している危険な交差点付近に、スピード抑制や事故防止を注意喚起する看板を設置できないか。</p> <p>災害発生時に被災者が一定期間滞在できる避難施設として、亀岡川東学園体育館が指定避難所に指定されている。 (1) 亀岡川東学園体育館にはエアコンが設置されていないが、避難場所の環境整備として、今後設置する計画はあるか。また設置されないのであれば、指定避難場所を変更する考えは。</p> <p>市内小・中・義務教育学校の教育環境について問う。 (1) 児童生徒の熱中症予防対策として、体育の授業や運動会・体育祭等の学校行事について、時間帯や場所などを配慮・変更すべきと考えるがどうか。 (2) 未来につながる家庭での主体的・体験的な学びを促す取組であるラーケーション制度についての所見は。また、本市に導入していく考えは。</p> <p>昨年度のプレ開催に続き、来年2月23日から25日までの3日間、保津川水辺公園をメイン会場として、第2回京都・亀岡バルーンフェスティバルが開催予定であり、大きな期待が寄せられている。 (1) 昨年度の検証は。 (2) 実行委員会において開催に向けて計画が進められているが、進捗状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長 教育長</p> <p>市長 所管部長</p>
18	<p>福井 英昭 12月7日(木) 15:30～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 外国人の年金脱退一時金について</p>	<p>日本年金機構では、外国籍で一定の要件を満たす方を対象に、国民年金、厚生年金保険等の脱退一時金の請求を法的に認めている。 (1) 年金脱退一時金とは、どのような制度か。 (2) 年金脱退一時金を受給した外国人に、再入国は認められているのか。 (3) 永住外国人も年金脱退一時金を受給することは可能か。 (4) 年金脱退した後、無年金になった場合、生活保護は受給できるのか。 (5) 本市における外国人の生活保護世帯の数は。 (6) このような形で生活保護を受給することは、法の網の目をくぐり抜けたものであると感じる。外国人による生活保護受給者が増え</p>	<p>副市長 所管部長</p>

		<p>ると財政を圧迫しかねないだけでなく、生活保護の趣旨をたがえるのではないかと考えるが所見は。</p>	<p>本市における生活保護決定や相談は、「比較的通りやすい」と「厳しい。冷たい」の極端な二つの声がある。</p> <p>(1) 受給の相談に来られた方からすると、当然様々なケースがあり、また様々な捉え方があるため、両極端な声があるのは仕方がない。しかし、医療関係者や社会福祉関係者から亀岡の生活保護行政は「総じて厳しい」「伝統的に冷たい」と複数の方からお聞きしている。その言葉について、どのような所見があるか。</p> <p>(2) 本市も国の生活保護指針に沿って決定・不決定を行っているのは間違いないと思っているが、なぜ、このように他市との違いを言われるのか。</p> <p>(3) 生活保護政策は、本当に困っている方に、当然人間としての最低限度の生活を保障する観点から、実行されないといけない。一方、先ほどの年金脱退一時金の受給を受けて、年金が無くなった事例や偽装離婚をして、実際の生活は生活保護受給要件に当てはまらないのに決定してしまっている事例があるのではないか、との疑念が残るが所見は。</p>	<p>副市長 所管部長</p>
	<p>2 本市の生活保護政策について</p> <p>3 市立幼稚園のこども園化について</p>	<p>今議会で亀岡市立幼稚園を「認定こども園」とする議案が提出されている。認定こども園制度については、理解しているつもりだが「幼稚園」という、就学前教育としての機関が、公立としては消滅することになる。</p> <p>(1) 亀岡市立幼稚園は、どのような施設名になる予定か。また、就学前教育はどうするのか。</p> <p>(2) ここ数年来、実施されてきたことだが、幼保連携ということで先生方の入替えや異動が進んできた。幼稚園は教諭、保育所は保育士であったが、この間、幼稚園と保育所での業務の違いに先生方が戸惑ってきたことも事実である。これをどう整理するのか。</p> <p>(3) 今後、所管は、教育委員会からこども未来部へ移管され、認定こども園や保育所と同じ所管になるのか。</p> <p>(4) 私立幼稚園4園は、どのような考え方で運営されるのか。また、所管は教育委員会のままなのか。</p> <p>(5) 亀岡市立幼稚園改め、認定こども園については、何歳児からお預かりする計画なのか。</p> <p>(6) 認定こども園にしても、待機児童が多いのは、0歳児から2歳児であって、今後はどうしても保育児が減少していくと見込まれる。今後の「認定こども園」の再編計画などはあ</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>	

		4 市庁舎について	<p>るのか。</p> <p>建設以来、30数年を経て、至るところに老朽化が目立つようになってきた。今回も屋根の修理経費が上程され、計画的に長寿命化を図るための修繕が進められている。今回は2点、質問する。</p> <p>(1) 庁舎前ロータリーについて、舗装が悪くなり、軽微な修繕では直りきらないところがある。この際、通行経路等の考え直しも含めて、舗装を根本的にやり直してはどうか。</p> <p>(2) 庁舎2階の南側には、相当の面積の張出部分(ベランダ)がある。パラボラアンテナ等は設置されているが、ここを緑地化し、オーガニック野菜の畑とし、子どもたちが芋掘りを体験できる芋畑などにしてはどうかと考えるが所見は。</p>	市長 所管部長
19	木村 勲 12月8日(金) 10:00~ ※一問一答	1 保津川遊船企業組合の支援について	<p>保津川遊船企業組合の支援については、令和5年6月議会で安全対策と船頭の雇用対策2,500万円を増額補正し、7月17日の再開時には1,500名に2,500円の運行再開市民割引キャンペーンが実施された。11月10日付京都新聞朝刊1面に、「亀岡市長方針 保津川下り利用税導入」と掲載され、21日付京都新聞では、「保津川利用税 まず寄附金で」とも掲載された。保津川の環境整備と保津川遊船企業組合の体制から、今後の亀岡市としての支援について問う。</p> <p>(1) 保津川下りを応援するクラウドファンディングは、7月21日から10月20日の期間で行われ、目標2,000万円に対し約6,000万円が寄附されたが、使い道は。</p> <p>(2) 保津川下りの支援については、11月21日付京都新聞で「まず寄附金で」と掲載されたが、継続的な支援の財源となる利用税についての考えは。</p> <p>(3) 保津川の環境問題については、清掃活動は必要であるが、上流や支流の川も含めてごみを流さない意識が大切である。以前から質問している保津川条例策定についての考えは。</p>	市長 所管部長
		2 カインズ周辺の整備について	<p>現在、犬飼川左岸の市道は、若宮橋の完成後に行われている堤防の修復工事により開通できず、カインズ東側の国道9号からの侵入口も工事の進捗が遅れており、国道9号下りの渋滞が発生している。国・府との協議について問う。</p> <p>(1) 犬飼川左岸の市道の開通時期、カインズ東側出入口完成時期は。</p> <p>(2) 犬飼川左岸の市道は、経年劣化により北側のへこみが著しく、雨天の日には大きな水たまりができていますが改修の予定は。</p> <p>(3) 犬飼川左岸の市道南側の歩道や花壇の補修の予定は。</p>	市長 所管部長

		<p>3 市道並河蚊又線の工事進捗について</p> <p>4 し尿処理施設若宮工場について</p> <p>5 認定こども園への移行について</p> <p>6 災害時避難場所について</p>	<p>国営ほ場整備安町余部工区の着工に伴い、市道並河蚊又線も着工されるが、進捗と完成時期について問う。 (1) 市道並河蚊又線の設計内容、進捗及び完成時期は。</p> <p>し尿処理施設若宮工場の現状と跡地利用について問う。 (1) し尿処理施設若宮工場の現在の状況は。 (2) カインズ西側の都市計画道路が南に延伸し、し尿処理施設若宮工場内を通過すると聞くが、若宮工場の跡地利用は。</p> <p>11月21日付京都新聞に、「2024年度に別院保育所、25年度に保津保育所と市立幼稚園を、認定こども園に移行する方針を固めた」と掲載された。今後の運営について問う。 (1) 認定こども園に移行することで何が変わり、どのようによくなるのか。 (2) 別院保育所の現在籍数10人から、どのように40人の定員数を確保しようと考えているのか。 (3) 保津保育所の定員数を50人から90人とするが、どのように確保しようと考えているのか。 (4) 市立幼稚園の現在籍数44人から、どのように102人の定員数を確保しようと考えているのか。 (5) 認定こども園に移行することで、0～2歳児77人の待機児童は解消されるのか。 (6) 保育士の確保はできているのか。</p> <p>令和3年12月議会において指定緊急避難場所・指定避難所について質問したが、場所を知らないという市民の声を聞く。また、耐震構造でもなく、老朽化している施設もあるが、今後の対策について問う。 (1) 指定避難所（自治会、小・中学校）と一時避難施設（区の公民館）を市民にどのように広報しているのか。 (2) 耐震構造でもなく老朽化している施設もあるが、今後の対策は。 (3) 耐震構造の改良工事または新築費用に対する補助金はあるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
20	<p>西口 純生 12月8日(金) 10:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>亀岡三大観光であり、世界の観光名所の一つと言われている保津川下りは、3月28日の事故発生後、亀岡市の対応もあって7月17日に運航が再開された。新聞で報道された「保津川利用税」の導入も含め、今後の対応策について市長の所見を求める。 (1) 運航を再開することはできたが、乗客数の</p>	<p>市長</p>

		<p>2 城下町の電線地中化について</p>	<p>回復などに向けた支援の状況は。</p> <p>(2) 11月9日に行われた桂川市長3期目の就任記者会見において、保津川下りの事故を教訓に、保津川遊船企業組合やラフティング事業者などに呼びかけ、保津川の安全利用と環境保全のための協議会を設立すると言及されていたが、この協議会の目的は何か。</p> <p>(3) 新聞報道で、「保津川下りやラフティングを利用する乗客から保津川利用税を徴収する条例の制定を目指す」とあったが、その後の会見では、制度の創設に時間がかかるため初めは「寄附金」という形にしたいと発言されている。今後の展開について市長の考えは。</p> <p>(4) 安心して保津川が利用できる環境づくりや、将来にわたって美しい川を守り続けていくことは大変重要なことである。今後、協議会の設置をはじめ、保津川の環境美化・保全に向けた取組をどのように進めていくのか。</p> <p>亀岡祭の山鉾巡行は、祇園祭に負けないほど華美・荘厳で、地域活性化に花を添えている。しかし、まちに張り巡らされた電線は、山鉾巡行の邪魔になるだけでなく、接触し事故が起こる可能性があり大変危険である。</p> <p>(1) これまでも電線の地中化を望む声を聞いてきたが、事業を行うことになった場合、全面的に協力すると声が挙がっている地域はあるのか。ある場合は、そこを重点地域として事業を実施してはどうか。</p> <p>(2) 山鉾巡行の安全対策は重要であるが、電線の地中化を行うためには、住民の協力が不可欠である。今年の亀岡祭で巡回していたところ、西町で電線の地中化について熱い思いを聞かせていただいた。事業に対する体制が整う西町をモデル地域として実施を検討してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 桂川改修促進事業について</p>	<p>先般、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所が、観光地である嵐山で、景観を損なわない方式で可動式止水壁を完成させた実績をたたえられ、表彰を受けることになったと、西脇京都府知事から説明を受けた。</p> <p>(1) 桂川嵐山地区の桂川左岸溢水対策として整備された可動式止水壁が「グッドデザイン賞」を受賞されたことが10月5日に発表された。このことは、今日まで亀岡市と上下流でバランスが取れた整備促進に寄与してきた私たちにとっても、大きな喜びである。この受賞内容に関する成果と所見は。</p> <p>(2) 今後の桂川改修の整備促進に向けて期待が持てるようになってきた。次はどのような仕掛けを行っていくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>4 全国都市緑化フェアの開催について</p> <p>5 地域課題について</p>	<p>(3) 愛宕谷川最下流部の堆積土砂撤去の日程は。</p> <p>(4) 保津橋上流左岸堤防の草刈りについて、京都府南丹土木事務所は、今年度撤去することになっているが、今後の取扱いは、どのようなになっているか。</p> <p>亀岡駅北の旧スタジアム用地は、令和8年度に開催される全国都市緑化フェアの会場になると聞いているが、交通の利便性などを考慮すると、駐車場用地の確保が必要になると考える。</p> <p>(1) 旧スタジアム用地のうち、環境保全専門家会議が指定した範囲の中に、スタジアムのサブグラウンドとしても使用できる「緑の広場」と駐車場を整備することになっていた。全国都市緑化フェアの開催に合わせて、当初の予定どおり駐車場を整備し、大型バスの駐車スペースを確保してはどうか。</p> <p>(2) 全国都市緑化フェアが修学旅行の行程に入る可能性や、会場である2市1町の移動のことを考えると、大型観光バスの駐車場が必要不可欠である。全国から集まる多くの来場者の利便性と安全性を考慮して、交通面の対応ができるのか。</p> <p>(3) 京都縦貫自動車道から都市緑化フェアの会場へは、どのような経路で誘導するのか。</p> <p>地域課題について問う。</p> <p>(1) 近年、亀岡市内の各所で、柿の木を狙う熊が発見・報告されているが、どのような安全対策を行っているのか。</p> <p>(2) 今年度における、宇津根橋から下流の桂川右岸堤防拡幅工事の整備距離は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
21	<p>梅本 靖博 12月8日(金) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 地域通貨について</p> <p>2 介護施設のICT化について</p>	<p>地域通貨とは、特定の地域内でのみ使えるお金で、他の自治体でも導入事例があり、地域経済活性化への効果が期待できる有効な制度と考える。一方、地域性により、その効果については、よい事例よりも残念な事例が多いとされている。亀岡市商店街連盟・亀岡商業協同組合が主催し、亀岡市内の加盟店で使えるプリペイド型電子マネー「かめpayプレミアム」は、まだ制度設計に改善の余地があると考え、今後、地域通貨「かめpay」としての広がり大きく期待を寄せるところである。そこで、本市の考えを問う。</p> <p>(1) 地域通貨についての見解は。</p> <p>(2) 本市が理想とする地域通貨像は。</p> <p>(3) 「かめpay」についての見解は。</p> <p>(4) 地域経済の活性化に向けての考えは。</p> <p>担い手不足は、どの分野でも深刻な問題であり、どう対処するか個別に課題を抱えている。介護施設に関しては、先日の「いきいき長寿プラン</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 人権条例について</p>	<p>推進協議会」において、介護施設のICT化・介護ロボットの導入を今後の課題として挙げている。そこで本市の考えを問う。</p> <p>(1) 亀岡市内の介護施設のICT化・介護ロボットの導入の実態は。</p> <p>(2) 高齢者福祉の中で、介護事業のICT化・介護ロボット導入に対する本市の見解は。</p> <p>(3) ICT化・介護ロボットの導入をどのように促進しようと考えているのか。</p> <p>(4) ICT化・介護ロボットに係る京都府等の補助金制度をどのように周知しているのか。</p> <p>人権に係る社会問題は多様化しており、近年特にインターネット上の誹謗中傷はとどまることなく増えている。南丹市は「人権を尊重し多様性を認めあうまちづくり条例」を制定しており、既に制定している自治体も多い。本市においても「亀岡市人権条例(仮称)制定審議会」において、条例の素案づくりが大詰めを迎えている。そこで本市の考えを問う。</p> <p>(1) 条例を制定する意義と目的は。</p> <p>(2) 条例を各施策の中で具体的にどのように生かすのか。</p> <p>(3) 条例制定後、具体的にどのように啓発するのか。</p> <p>(4) 最近、アウトティングについて条例化した自治体もあるが、条例の中で具体的にどのように扱うのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
22	<p>法貴 隆司 12月8日(金) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 環境課題について</p>	<p>環境課題への取組は、世界的に取り組むべき大きな課題である。世界に誇れる環境先進都市を目指す亀岡市は、今後も常に環境に配慮した取組を行う必要がある。</p> <p>(1) かめおか脱炭素宣言を表明した本市として、成長が早く、大量のCO2を吸収する早生桐の植林事業を行ってはどうか。</p> <p>(2) 柔軟性や弾力に富み、湿気にも強く、非常に軽い早生桐を本市の新たな特産物にしてはどうか。</p> <p>(3) 小学校における環境学習の一環として、各地域の耕作放棄地に入學祝として早生桐を植樹し、卒業時に早生桐を使用した記念品を渡してはどうか。</p> <p>(4) 本市に点在するため池を活用し、水面を利用した水上太陽光発電の設置を推進してはどうか。</p> <p>(5) 有機農業をさらに推進するため、営農型太陽光発電を導入してはどうか。</p> <p>(6) 災害時において、災害対策本部となる庁舎に太陽光パネルやソーラーカーポート、蓄電池を導入して防災体制を維持できるようにしてはどうか。</p> <p>(7) 亀岡市ポイ捨て等禁止条例第14条のつ</p>	<p>市長 所管部長</p>

		とり、5万円以下の過料を課された者はいるか。 (8) 様々な取組が功を奏し、ポイ捨てや飼い犬等のふんの放置は以前に比べ減少したが、まだまだ多くのポイ捨てごみが見受けられることを鑑み、抑止力強化のため違反した者には過料ではなく罰金にしてはどうか。 (9) 曾我部町内各所において悪質な不法投棄が相次いでいるが、街灯の設置はできないか。	
	2 安全・安心なまちづくりについて	住民が安全で安心して暮らしていくためには、防災施設や避難計画が整備され、自然災害や緊急事態に対する十分な備えが必要である。 (1) 過去に起きた災害の記憶や教訓は風化させることなく次世代に伝える必要がある。昭和26年に発生した平和池水害の跡地を、災害遺構や伝承施設として整備してはどうか。 (2) 亀岡市消防団曾我部分団4部9班の屯所がさらに老朽化し活動に支障を来しているが整備計画は。	市長 所管部長
	3 移住・定住について	本市においては令和3年度より転入超過となっているが、今後人口増加に転じるには子育て世代のさらなる移住・定住促進が必要である。 (1) 吉川町府営住宅穴川団地の入居状況は。 (2) 吉川町府営住宅穴川団地の入居者を誘致するため、京都府と連携して行っている取組は。 (3) ハト除けのネットを設置したが効果は。	市長 所管部長
	4 インフラ整備について	人々の生活に密接に関わるインフラ整備は、市民の生活水準の向上のためには必要不可欠である。 (1) 工事を発注する際、働き方改革に準じた適正な工期を設定できているか。 (2) 市道における道路修繕の要望に対応するための予算は適正か。 (3) 融雪剤の散布基準は適正か。	市長 所管部長